

中村知事との固い絆と厚い信頼

中村法道知事と共に未来の長崎県をつくる大村総決起大会



知事3選に向けて、多くの団体や県民みなさまから、力強い推薦が続く中、出馬するかどうか、熟慮を重ねられ、出馬を決定された中村知事を、小林かつとし県議は、

「いま、長崎県のリーダーは、中村法道知事以外にない」と、いち早く支援を表明し、知事選挙が始まる前日の最も忙しい1月17日、中村知事を支援する大村総決起大会を開催しました。

会場は、通路も立ち見スペースも超いっぱい、ロビーには、5台のモニターをセッ。通路もどこも足の踏み場もないくらい超満員。それでも次々にお越しいただき、余りにも人の多さで驚かれ「入れない」とあきらめてお帰りになられた方々も、たくさんいらっしゃいました。

何と、1600名を超える盛り上がりだった大会となったのです。

小林県議の日頃からの「有言実行を長いお付き合いの中からご存知の中村知事は、感謝をこめて小林県議に何度もお礼を述べられていました。



おいては投票率も得票数も4年前と比べ大きく前進しました。

県民のみなさまのご協力とご理解を得ながら、長崎県に生まれてよかった、大村で暮らしてよかったと実感できるように、中村カラーを全面に打ち出して下さい。

中村知事ガンバレ!



大村18代領主・大村純忠公と世界遺産

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」について

当初の「長崎の教会群とキリスト教会関連遺産」から、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と名称を変更し、この7月ごろ世界遺産の正式登録が期待されています。

ところで、世界遺産の候補は禁教期にあると聞き及んでいます。しかし、この禁教期にもっとも関係の深い、日本初のキリシタン大名、大村純忠が全く触れられていません。日本初のキリシタン大名として大村純忠が果たした役割は、現在、世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に密接に関連し、



きないものです。禁教期の歴史を語る上でも、大村純忠の存在を抜きにして語ることは断じてできない」と思っています。

世界宗教史上の奇跡と言われている

る1865年の大浦天主堂での信徒発見は、激しい弾圧を乗り越え、250年もの長きにわたって信仰を続けるすさまじさは、言葉に言い尽くせません。大村市には、禁教期の悲痛な殉教の歴史である「郡崩れ」にまつわる関連遺産も数多く残されており、キリスト教伝来から繁栄、禁教、そして潜伏といった歴史を物語る上で避けて通れない重要なところ。ところが、大村純忠の関連遺産は、残念なこと、世界遺産の12の構成資産に含まれていないのです。

もので、「キリスト教文化遺産群」として大村純忠ゆかりの史跡公園、天正遣欧少年使節のほか、仏の谷、放虎原殉教地、首塚・胴塚跡などありますが、世界遺産の登録効果を国内はもちろんのこと、世界に向けて広く普及させてもらいたいと考えています。

人口減少の要因でもある、若者の県外流出に歯止めをかけ、高校生や大学生の県内就職率アップに更なる力を入れるため、新たに「若者定着課」を新設し、本気で取り組んでいきます。

県庁に「若者定着課」新設へ

93.4%。4年連続で90%を越えています。内定者のうち、県内1666人・県外1517人となっています。

学長をはじめ、事務総長と信頼関係を築き、県庁でも中村知事と面談をセッし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプの誘致、ベトナムと長崎間の定期航空路線の開港、更に、人手不足対策等、具体的に対策をすすめています。

20年後アジアは、欧米を越える経済の中心地になる。アジアにむけた活動

アジアの成長率は2016年5.5%と試算され、世界全体の3.1%、アメリカの1.6%、日本の1.0%を遙かに越えています。

この成長率から見ても、アジアのダイナミックな経済は世界成長の牽引役となることは、疑う余地はありません。

ベトナム国立農業大学院での調印式



長崎県立・大村市立一体図書館 開館4月予定が12月頃へ大幅にずれ込む。 夏休み期間は部分開館を強く要望。

県都長崎市に100年以上も君臨した県立図書館を、県立・市立一体図書館として大村に誘致できた背景には、小林県

議の活躍と存在がいかに大きかったか。県庁及び県議会、そして長崎市役所と市議会、更に県立図書館は長崎市に残すべきと、大村移転に徹底反対した方々はよく承知されていることです。

「小林県議一人にやられた。小林県議がいなかったら」と、今なおそんな話が聞かえてくるのです。

大村に移転する県立・市立図書館は九州では第一位、全国でも第五位に入る立派な図書館です。

ところが、開館予定が4月から12月頃にずれ込むことが、明らかに、小林県議は県議会でのこの問題を取り上げました。園田市長も望まれています。

「せめて夏休みの期間、小学・中学・高校生が利用できるよう部分開館を行うべきだ。子ども達の期待と、夢を叶えてほしい」と強く教育長に求めました。

教育長は、子ども達の夢と希望を叶えるよう最善の努力をすることを約束されました。

国道34号の4車線実現にむけて

(大村与崎から諫早本野入口4.4km)



木場スマートインターチェンジが首尾よく開通し、現在、大村与崎から諫早本野入口まで4車線化は園田市長を先頭に必至で取り組んでいます。

この間は、1日の交通量3万3千台で慢性的な混雑が続いています。

長崎県は「都市計画」の手続きをテキパキと終え、あとは国の新規事業化決定を待っています。

必ず4車線化に向けて、国・県市一体となって実現を目指します。

事業費は160億円が見込まれています。

大村市内の皆様へ



配達地域指定
タウンメール

小林 かつとし 県政報告

**県政と大村の
確かなハイプ役
戦ろう!!
小林かつとし**

小林かつとし事務所 大村市本町 450-1 TEL.0957-53-5501
http://www.katsutoshi-k.com

新県庁舎落成

江戸町から長崎魚市跡地に移転新築した新県庁舎が、昨年12月24日(クリスマス)に落成しました。これまでの県庁舎は、震度6強の地震で倒壊する恐れも指摘され、老朽化の上、

事務スペースも狭く、各地に庁舎機能を分散させ、非効率と家賃の無駄も問題でした。

しかし、移転新築には反対も多く、「移転反対市民集会」には、かつてない3千人を超える市民が集まり、殺気立っていました。

2度の県庁舎建設特別委員長就任へ

そんな中、県議会に「県庁舎建設特別委員会」が設置されました。経験と動じない信念。

説得力をもつ小林県議が2度にわたる大役の委員長に推挙されました。

そして、県下をまわり、いろいろな苦勞を重ね、県民みなさまと、県議会の移転建設同意を取りつ

けたのでした。

新県庁舎落成式には、高田元元知事が招待された。たくさんのお客者から握手攻めでした。

高田元知事は「当時反対活動の最中、よく頑張ってくれた。」と小林県議の活躍を、懐かしく話に花が咲いていました。

小林県議は「県当局と力合わせ、県民みなさまのために、活力あふれる長崎県づくりに邁進したい」と熱く決意を語っていました。



93歳になられた高田元知事と落成を祝う(新県庁舎ロビーにて)



新本会議場



【総工費】
425億7千万円(3月末現在)

【財源】
貯金してきた基金349億円
補助金45億円
起債(借金)32億円

いま大村市と長崎県はかつてないほど信頼と強い絆で結ばれています。

県立市立一体図書館・都市計画道路久原池田線と池田沖田線・鈴田峠国道34号の4車線化・3月オープンした木場スマートインターチェンジ。ろう学校新設。新幹線大村駅設置・空港国際化。アジア国際戦略。等々大村を最高に暮らしやすい、希望あふれる元気な町へと!

県の応援を受けて大村の未来に直結する大型構想が次々に実現しています!

長崎県初 長崎自動車道

木場スマートインターチェンジ完成・開通!

平成24年5月から長崎県と大村市、そして西日本高速道路が工事に着手。5年10ヶ月の歳月を経てお陰さまでこの3月18日午後3時、多くのみなさまに

祝福され開通いたしました。このスマートインターチェンジは、大村市議会前議長の田中ヒデカズ議員が、市議会で取り上げ、実現には、県の支援が必



園田市長と共に開通を祝ってガッチリ握手

要と、小林かつとし県議(働きかけ、早速、小林県議は持ち前の行動力で「長崎県を動かした」のが、始まりです。総事業費34億円、西日本高速道路25億円・大村市5億5千万円のうち3億5千万円は補助金・実質負担額は2億円)長崎県は当初負担額は0円でしたが、小林県議から中村知事へ働きかけた結果、長崎県は2億円、更に1億6千万円を追加して、計3億6千万円を負担することになりました。

この開通によって、市役所・長崎医療センター・活水大学・大村高校・城南高校・玖島中・旭が丘小・大村中学校を所して大村公園など、とても便利になり、国道34号の渋滞緩和も期待されています。特に命を守る医療の拠点である長崎医療センターへの急患搬送の時間短縮も大きな役割です。

長崎県議会議員 小林かつとし氏 自治功労者表彰及び 永年勤続者表彰

在職20年

受賞祝賀会に500名を超える集まり

県政・市政にゆるぎない太いパイプ



忙の中を中村知事をはじめ、国会議員・濱本・里見両副知事、すべての部長さん、地元大村市からも園田市長、吉野副市長すべての部長の方々、県議会からも八江議長、徳永副議長他20名を超える議員のみなさま、会場の中に入れない、ロビーまでテーブルを並べるほどの大盛況でございました。県・市をはじめ県議会や多くの市民みなさまが、いかに小林かつとし県議の活躍を評価し、今後に期待されているか、よくよく伝わってきました。

県政と市政の確かなパイプ役として幅広い活躍を続けている小林県議は、全国都道府県議長会、そして長崎県議会より、地方自治発展及び県政での功績が評価され、名誉ある表彰を受けられました。



小林県議の労をねぎらってくださる中村知事

この受賞は、小林県議が幾多の試練を乗り越え、ふるさと大村、さらに長崎県発展のため、ひたすら頑張りを重ねてこられた熱意あふれる精進の賜であります。県議会当選6期20年は、大村市において小林県議が初めての栄誉です。



長崎県議会議員 小林かつとし氏
自治功労者表彰・永年勤続者表彰 (在職20年)
受賞祝賀会